

# 令和7年度専門高校生徒の研究文・作文コンクール 「経済同友会賞」2編を顕彰

経済同友会は2025年12月19日、令和7年度専門高校生徒の研究文・作文コンクール（経済同友会・産業教育振興中央会共催）において研究文・作文各1編を「経済同友会賞」に選出、表彰した。全国から応募された研究文41編・作文247編の作品の中から、同賞に選出された作品を紹介する。なお、本会ホームページで作品全文を公開している。



受賞者の加藤品久さん(上)と岩崎来瞳さん



## 経済同友会審査委員会

### ◎委員長

日色 保 学校と経営者の交流活動推進委員会 委員長  
(ウォルト・ディズニー・ジャパン 取締役社長)

### ○委員

桜井 伝治 同 副委員長 (NTT インテグレーション 取締役社長)  
田中 剛 同 副委員長 (フューチャーアーティザン 取締役社長)  
新倉 恵里子 同 副委員長 (東和エンジニアリング 取締役社長)

## 「経済同友会賞」授賞作品

### 研究文 の部

## ミニトマト生産、販売における 食品ロス低減への取り組み

愛知県立安城農林高等学校 園芸科3年：加藤 品久

### 審査講評

◆食品ロス削減や環境負荷低減という身近なテーマを出発点としながら、廃棄に至る要因を丁寧に考察し、改善策の整理へと落とし込んでいく思考プロセスが秀逸である。安易に「唯一の解決策」に頼ることなく、複合的なソリューションを検討している点からも、本研究に対する真摯な姿勢がうかがえる。訪問販売におけるターゲット設定の的確さに加え、アンバサダーの存在が活動の効率化に寄与した点は、地域密着型の取り組みならではの成果といえるだろう。さらにBtoB領域へと展開し、着実に成果を上げている点も評価したい。今後はPLなど財務面の成果についても示すことができれば、取り組みの実効性が一層明確になるのではないかと期待したい。【日色】

◆実際に生産・販売・活用までを一貫して行った高い実装力は、特に評価すべき点である。生産者と消費者をつなぎ、地域全体を巻き込んだ展開は大変意義深い。併せて、KPIを明確に設定した上で効果測定を行っている点も高く評価できる。研究報告においては、図表や写真を適切に用いる

ことで内容を分かりやすく伝える工夫がなされていた。今後も継続的に取り組みが発展し、日本農業の未来に希望をもたらす存在となることを期待したい。【桜井】

◆生産性向上と食品ロス低減を両立させる明確な目標設定の下、トヨタ工場見学で得た知見を活かし、生産方法の見直しや訪問販売、BtoB連携、飼料化といった多角的な分析と改善策を導き出している点は、極めて論理的で高く評価できる。裂果トマトを飼料化し、うま味成分の向上につなげた「トマシエッグ」をはじめ、地域と連携した循環型農業モデルの構築には大きな将来性を感じる。今後は、規格外トマトが市場で選ばれてこなかった背景や要因をさらに掘り下げて整理することで、加工以外の活用手法についても新たな可能性が広がるのではないかと期待したい。【田中】

◆日々通学し学ぶ環境の中で身近な課題を見つけ出し、その解決に向けて粘り強く取り組む姿勢に深い感銘を受けた。原因と結果の関係を丁寧に分析した上でデータ設定を見直し、課題を再定義しようとする視点は対策の幅を広げるとともに、より長期的な取り組みへと発展させる可能性を感じさせる。身近な地元の方々を巻き込みながら実績を積み重ねてきた事実は、地域創生の観点からも大きな影響力を持つものであり、多くの人が見習うべき原動力であるといえる。【新倉】

## 受賞者・加藤晶久さんのコメント

このたび「経済同友会賞」をいただき、驚きと同時に胸が熱くなりました。プロジェクト開始時、バケツ何杯もの規格外トマトを捨てていた悔しさが、今では誇りに変わりました。裂果対策や訪問販売、トマシライス、トマシエッグの開発まで地域の皆さんと一緒に「捨てない仕

組み」を形にでき、廃棄7割減・GHG半減につながったことが本当にうれしいです。失敗してもデータを基に改善策を考え、仲間と議論しながら前に進んだ時間は私たちの宝物です。支えてくださった方々に感謝し、次はこのモデルを地域へ広げられるよう、さらに学びを深めていきます。

## 作文の部 飾りじゃないのよパセリは！ ～隠れた魅力に魅せられて～

佐賀県立唐津南高等学校 食品流通科3年：岩崎 来瞳

### 審査講評

◆地元の名産品が十分に活用されず廃棄されている現状を目の当たりにし、「何とかしたい」という明確な問題意識を起点として取り組まれている点が印象的である。パセリを活用した商品アイデア自体は決して突飛なものではないものの、3年にわたり「パセリ祭り」を継続開催してきた点は高く評価できる。そこには、粘り強く真摯に取り組む姿勢と、周囲を巻き込みながら活動を広げていく力があつたからこそだろう。今後は地域にとどまらず全国へとパセリの魅力を発信するとともに、この取り組みが後輩へと受け継がれていくことを期待したい。併せて、栄養価に加えたパセリの多面的な魅力について、さらに掘り下げた発信があれば、より一層の広がりにつながるものと考えます。**【日色】**  
◆「飾り」という固定観念を覆し、産地やお客さま、さらには子どもたちまでを巻き込みながら新たな価値を創出していく行動力に大きな期待と高揚感を覚えた。タイトルの着眼点も秀逸である。既成概念にとらわれない挑戦は、これまで

の枠組みを超える可能性を秘めている。今後はパティシエとしての感性と新たな発想を活かし、地域農業や食育を支える存在として活躍されることを心から期待している。**【桜井】**  
◆脇役とされがちなパセリを主役へと転じ、廃棄率90%という現状に真正面から挑む未来志向の取り組みに深い感銘を受けた。試行錯誤と改良を重ねながら地域全体を巻き込んで実現した「パセリ祭り」の成功は、固定観念を打ち破る強い意志と行動力を雄弁に物語っている。将来、パティシエとして地域食材を活かした価値創造に取り組まれる姿に大きな期待が寄せられる。今後に向けては、野菜を「飾り」として用いること自体の是非にも目を向け、なぜ食べられないことを前提とした利用が定着してきたのか、その背景や意味を掘り下げて検討されることを期待する。**【田中】**  
◆素晴らしい食材であるパセリが90%も廃棄されている実態に疑問を投げかけ、フードロス問題の原点に迫った意欲的な作品である。パセリの魅力を焼き菓子として展開するだけでなく、加工品作りの出発点となった「生」の活用にも目を向け、より広い視点で分析・検証を重ねていくことを期待したい。また、廃棄率について具体的なデータに基づき検討しようとする姿勢も高く評価できる。課題を分析し、その過程をリアルに再現した点は大いに称賛に値する。**【新倉】**

## 受賞者・岩崎来瞳さんのコメント

このたび、このような素晴らしい賞を頂き誠にありがとうございます。3年前先輩から一枚のクッキーを渡され食べたあの日、こんなにも特別な体験と出会いが待っているとは思ってもいませんでした。地域を助けた、製菓衛生士を目指すため知識や技術を上げたいと、

仲間たちと協力し過ごした日々は私にとってかけがえない思い出となりました。今では後輩ができ、この研究はさらにつながっていくと確信しています。

最後に、佐賀市富士町のパセリを愛する全ての仲間たちに感謝の気持ちを込めて、「本当にありがとうございました！ 飾りじゃないのよパセリは！！」

### 専門高校生徒の研究文・作文コンクール概要

本コンクールは1982年から産業教育振興中央会が主催し、実施されてきた歴史のある事業である。経済同友会はこれまで、学校と経営者の交流活動や震災復興プログラムなどで、教育や将来の産業を担う若者の支援をしてきた。本コンクールは専門高校生徒の研究や学習成果に対して経済界からエールを送り、広く社会の関心を高めることを目的として、産業教育振興中央会と共催で実施している。今年度で9回目を迎えた。

なお、産業教育振興中央会の現会長は経済同友会元副代表幹事の浦野光人氏、同理事長は学校と経営者の交流活動推進委員会元委員長の杉江和男氏が務めている。

■主催 公益財団法人産業教育振興中央会  
公益社団法人経済同友会

■応募対象 専門教育を主とする学科(専攻科を除く。総合学科を含む)に在籍する高等学校の生徒

### ■審査過程

全国から応募のあつた研究文41編・作文247編のうち事前審査を通過した作品を、経済同友会審査委員会にて、①妥当性②論理性③独創性④説得力⑤将来性の視点から審査した。また、産業教育振興中央会は別途、研究文8編(最優秀賞1編、優秀賞2編、佳作5編)・作文9編(最優秀賞1編、優秀賞2編、佳作6編)を入選作品として決定した。